

私のものづくり

株式会社鴻池組
大阪本店土木部
淀川左岸線工事事務所

● 宇治田悠璃



私は、鴻池組に入社して六年目になります。今回は私のものづくりのルートについて、地下構造物の工事に携わった経験から感じたことや、女性目線のものづくりについてお話ししたいと思います。

ものづくりのルート

私は大阪で生まれ育ち、両親は建設業とは全く無縁の商店街のお惣菜屋を営んでおりました。その姿を見て幼少期はお客さんの喜んだ顔が見れる両親の仕事に興味を持っていました。

大学進学を考えていたときに、大学説明会の場で建設業の道に進んでいる女性とお話しする機会があり、それ以来建設業に興味を持ち、土木工学部を志望し大学に進学しました。

大学では地盤工学研究室でAIを使った研究に取り組みながらスキューバダイビングサークルに所属して充実した学生生活を送りました。

将来は建設業の道に進みたいと決めていたのですが、就職活動の際に建設業の中でも様々の業種があることを知りました。自分は何がしたいか考えた結果、私も両親のように誰かに喜んでもらえるような仕事に就きたいと思いつくりの最前線であるゼネコンに就職を決めました。

地下構造物の工事に携わって

入社後は一年目から五年目まで大阪北区(うめきた地区)の

都心で鉄道地下化・新駅設置事業の地下構造物の工事に携わりました。この工事は開削工法にて地下一五〜一六mにボックスカルバート構造物を構築する工事でした。大阪の都心での工事であり、少しのトラブルが多くの人や経済に影響を与えることになりうるので、施工には細心の注意を払う必要があり気の抜けない毎日でした。

構造物の構築においては、ブロック毎に延べ数百人もの作業員が二、三ヶ月も費やして組立てた型枠、鉄筋、足場等の集大成として、一日で一〇〇〇mものコンクリートを打設し完成することから、コンクリート打設は絶対に失敗できない業務です。初めにこの業務を任せられたときは何か月も前から計画を立案し、職長と意見を交わし、生コンの手配を行い、天気予報とにらめっこをしながら計画を万全にしたつもりでした。当日を迎え、実際に打設が始まるとミキサー車の到着が遅れたり、打設スピードが遅かったりと計画通りにはいかず、上司や協力会社に助けられながら臨機応変に対応することができました。養生期間後に緊張しながら型枠を解体すると、とても綺麗なコンクリートが打設できていてとても達成感を感じました。その後もコンクリートの打設を経験しました。最後まで緊張感のある業務の一つでした。

全ブロックが完成し、竣工時に連続した構造物の全景を見た時には、とても綺麗でやりがいと達成感を感じました。もちろん自分一人では完成しないものであり、たくさ



うめきた地区の地下構造物工事



地下構造物内での集合写真（前列右端が宇治田）

んの人の技術、経験、知識、またなによりいいものを作りたいという気持ちが集まって完成したことにとても感動しました。現在は淀川左岸線工事という類似の地下構造物の工事に携わっているので今までの経験を生かしていきたいと思っています。

女性目線のものづくり

私が実際に五年働いて感じるのは、想像していたより働きやすい環境だということです。

大学時代にこの業界を勉強していく中で、女性が少ない上に残業時間が多く、体力が必要な業種であることを耳にしたので、相当の覚悟をしたうえで入社しました。私

が入社した時は、女性現場技術者の入社は一人であり、先輩の女性現場技術者も二人だったため不安もありましたが、現場に配属されると設備環境はしっかり整っていて、現場業務においても体力の限界を感じることはありませんでした。現場の先輩職員は女性だからといって特別扱いをせず、指導していただけただけのため私は環境に溶け込みやすかったです。また現場の作業員は、最初は怖くて話しかけづらかったのですが、勇気を出して質問をすると見た目以上に優しくてびっくりしました。

また働き方改革の取組みとして、ITツールの活用などによる現場業務の効率化から残業時間の短縮や休暇取得の推進をしています。この取組みにより平日の業務終了後に趣味の野球観戦をしたり、休日に職場の方とゴルフをしたりと、プライベート

の時間を確保でき、ワークライフバランスが取れていると感じています。

他にも、一人ひとりの社員に年齢の近い先輩社員が指導を行う教育システムがあり、女性社員には女性の教育者が担当するので、仕事やプライベート、女性ならではの悩みができた時には教育担当者に相談することが出来ます。私も教育者の立場で新入社員の女性社員から相談を受けることがあり、自分にはなかった悩みや、新たな改善点、気づきもあるのでとてもいい機会です。

このように現在の私が問題なく建設業界に従事できているのは、これまでに様々な課題を解決してくださった建設業界で働いている女性の先輩方による活動や、弊社社員による女性社員へのサポートのおかげだと思っています。

今後も時代と共に新たな課題が出てくるのが考えられますが、男女関係なくよりよい職場環境づくりを私が推進していく立場になりたいと思っています。

次号では、私が土木業界に関わって感じたこと、女性ならではの強みややりがいについてお話ししたいと思います。よろしくお願ひします。

飛鳥建設株式会社 土木本部
新幹線立岩トンネル作業所

川村 柚稀



趣味のゴルフ